

バイエリア日系企業 2 割増

— 2018 年バイエリア（北カリフォルニア）日系企業実態調査（速報） —

2018 年 5 月 16 日

JETRO サンフランシスコ

バイエリアに進出している日系企業数は、2018 年現在で 913 社に上っていることが分かりました。この数字は前回（2016 年）調査時の 770 社から、約 2 割の増加になります（注 1）。

JETRO（日本貿易振興機構）サンフランシスコ事務所が、JCCNC（北カリフォルニア日本商工会議所）の協力を得て、本年 2 月から 3 月にかけて実施したアンケート調査の結果を速報としてまとめたもの。これまでも、隔年でバイエリアの日系企業の実態調査を行ってきており、本年で 14 回目。

調査対象は、バイエリア地域 26 カウンティ（注 2）に進出する日本企業（注 3）。経営状況（従業員数、売上、利益、業績見通し等）、ビジネス環境（当地の魅力、懸念事項、課題等）をアンケート回答形式による調査です。

今回調査（速報）の主な特徴は下記の通り。

1. 総数

913 社。2014 年調査時の 719 社、2016 年調査時の 770 社から順調に増加。
（推移はグラフ参照）

2. 所在地

- ① 郡別にみると、サンフランシスコ郡（175 社）、サンマテオ郡（166 社）、サンタクララ郡（406 社）、アラメダ郡（102 社）の 4 郡で全体の 93%を占める（849 社）。
- ② 主要都市別にみると、サンフランシスコ市（175 社）、サンノゼ市（159 社）、サンタクララ市（86 社）、サニーバール市（63 社）、サンマテオ市（49 社）等。

2. 業況（回答企業の割合）

- ① 直近の売上高増減 増加企業：51.1%、減少企業：11.5%
- ② 直近の営業利益 黒字企業：62.3%、赤字企業 14.4%
- ③ 営業利益見通し 増加見込：53.4%。減少見込：7.5%

3. 事業環境評価、懸念事項等（回答企業の割合）

- ① バイエリアの魅力（上位回答（複数回答））
市場規模（56.2%）、気候（54.4%）、産業集積（44.9%）、大学・研究機（32.4%）
- ② 直面する課題（上位回答（複数回答））
景気動向（75.7%） 雇用コスト上昇（62.1%）、為替（43.8%）

今後、内容を精査し、さらに分析を加え、調査結果最終版を（2018 年 8 月末目途）に公表する予定です。

(注1) 調査においては、従来と同様、操業の確認ができた企業数を集計したものであり、操業時点を特定していない。したがって、前回調査からの増加分がこの間に新規に進出したということの意味しない。

(注2) 2016年調査のサンフランシスコ、サンマテオ、サンタクララ、アラメダ、コントラコスタ、マリリン、ナパ、ソノマ、ソラノ、サクラメントの10郡に加え、今回調査では、アマドア、エルドラド、キャラベラス、コルーサ、サッター、サンタクルズ、サンベニート、サンホアキン、スタニスラウス、プレイサー、フレズノ、マーセッド、メンドシーノ、モントレー、ヨロ、レイク、を加えた26郡を対象とした。

(注3) 日本企業が51%以上出資（間接出資を含む）している現地法人、日本に本社のある企業の支店・駐在員事務所、日本国籍保持者または日系米国民が設立し運営している企業。存在が確認できた913社のうち、個票に対して320社から回答。

(問合せ先)

JETROサンフランシスコ事務所

田中、永松、中沢

(電話) 1-415-392-1333

(メール) sfc-research@jetro.go.jp

